**2024年3月25日**

**富士フイルム、ハイエンド大判プリンターの生産性を向上させるオートメーションシステムを発表**

富士フイルムは、「drupa 2024」にて、ハイエンドの大判プリンタ―「Acuity Hybrid」をアップグレードさせるオートメーションシステムを発表します。

このロボティクスユニットを導入することで、1人のオペレーターで印刷機を運転することが可能となり、剛体基板のパレットの切り替えプロセスが効率化されます。

生産ラインの補強とスピードアップを目的に開発された新システムは、剛体基板をプリンターに供給するローディングオプションと、材料をプリンターからパレットにアンロードするアンローディングシステムで構成されており、完全自動化と半自動化の設定が可能です。

システムには4つのレーンがあり、4列の素材に同時に印刷することができます。各レーンには、材料を掴み上げるための吸着アームが2つと、基板の重量や素材の表面に応じて運び方を調整できるバキュームが1つ付いています。また、印刷が難しいとされる基材から静電気を除去するイオン化ユニットもオプションで取り付け可能です。

オペレーターはユーザーフレンドリーなGUIからプリンターとシームレスに通信しながら、処理する材料を常時監視できます。自動化ユニットには、富士フイルムが特許を持つ特殊設計のラッチシステムが搭載されているので、プリンターにすばやく接続できます。

さらに、Acuity Ultra Hybrid LEDなどのハイブリッドプリンターで使用することを考慮し、ロールシステムへのアクセスを容易にする機構をドアの両側に装備しました。これにより、ロール紙からフラットベッドへの切り替えが効率化され、ハイブリッドプリンターの機能性と汎用性を最大限に活かすことができます。

富士フイルムは、長きにわたり良きパートナーとしてお客さまを支援できるよう最善の努力を払っています。この自動化システムは、お客さまの印刷ビジネスの成長をサポートするように設計されており、Acuity Ultra Hybridシリーズの現行モデルだけでなく、今後追加される技術とも互換性があります。

富士フイルムグループは、drupa 2024（ホール8B、スタンドA02）にて、この卓越した技術を展示し、新システムのアンローダー機能を実演する予定です。デモでは、生産ラインの稼働時間の拡大、プロセスの合理化、ビジネスの拡大など、この技術の持つ可能性に焦点を当ててご紹介します。

**以上**

**富士フイルム株式会社について**

富士フイルム株式会社は、富士フイルムホールディングスの主要事業会社です。1934年の創業以来、フォトイメージングの分野で数多くの先端技術を開発してきました。現在はトータルヘルスケアカンパニーとして、これらの技術を医療・ライフサイエンス分野に応用し、「予防」「診断」「治療」の3領域で幅広い事業を展開しています。また、フラットパネルディスプレイの材料などの高機能材料事業や、グラフィックシステム事業、光学デバイス事業にも注力し、拡大を図っています。

**富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部について**

富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部は、印刷会社の頼れる長期的パートナーとしてビジネスの拡大を支援するために、質の高い高度な印刷ソリューションを提供することに重点を置いた組織です。安定した財政と研究開発への多大な投資により、業界トップクラスの印刷を可能にする独自技術を開発しています。  こうした技術には、オフセット印刷、ワイドフォーマット印刷、デジタル印刷用のプリプレスとプレスルームソリューション、印刷生産管理用のワークフローソフトウェアなどがあります。富士フイルムは、自社の製品や事業活動による環境への影響を最小限にとどめるための対策や環境保全に積極的に取り組んでいます。また、印刷会社に環境保全のベストプラクティスを周知することにも注力しています。詳細については、[fujifilmprint.eu](https://www.fujifilm.com/uk/en/business/graphic)または[youtube.com/FujifilmGSEurope](http://www.youtube.com/FujifilmGSEurope)をご覧いただくか、@FujifilmPrintをフォローしてください。

**お問い合わせ先**

Daniel Porter

AD Communications

Eメール：[dporter@adcomms.co.uk](mailto:dporter@adcomms.co.uk)

Tel： +44 (0)1372 464470